



東京医科歯科大学 がん患者さんとご家族のための

おしゃべりサロン

サロン便り No.61
(2018年 1月発行)

2017年12月26日に開催された第61回“おしゃべりサロン”の参加者は、体験者18名(男性4名、女性14名)、家族2名(女性2名)、その他1名(ガイド女性1名)、合計21名でした。はじめて参加された方の質問を伺いながら、家事分担や制度面、体験談の共有などで話が弾み、あっという間に時間が過ぎました。「今日が年内最後だから」と、途中からお見えの方もいらして、このサロンが参加の皆さんにとって支えになっている事を感じました。

サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分の事を自分の言葉で話す事
 - ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴く事。
 - ③サロンでのお話はこの場限りにする。
- 以上三点です。また個人情報保護のため、SNSへの投稿や録音、写真撮影は禁止です。ご協力をよろしくお願いいたします。

○定期検査の時はいつもドキドキする。検査の後には結果が出るまで不安になる。心の落ち着き、広さが欲しい。

○最近、夫ががんになった。自分もがん患者だが部位が違くと治療も手術も違う。「第2の患者」となった今、色々と聞きたい。

○今まで頑張りすぎていた。「自分が全てやらなきゃ」から「適当に」に変わった。家ではオブジェのように、ゆったり過ごす事にしている。

○サロンに来ていつも励ましてもらっている。何もしたくない時期があったが抜けてきた。元気になってきて感謝している。

○がんになって優しくなれた。妻に優しくしたい。感謝の気持ちを言葉に出していきたい。

○がんの状況の変化をリアルを教えてもらえる場所がなかなかない。経験者でしか共有できない事がある。こういう場所は大切。

○親ががんになり、どうしたら良いかと思っていた。がんを経験した方の凄さを知った。ここで人生の先輩に会えたと思う。また参加したい。

○同じ部位のがんの方から力をもらった。皆さんの存在が生きる力になる。体のメンテナンスをしながらも寿命を全うしたい。

○制度の活用や家族の援助は大切だと思った。

○できない事はできないと割り切り、頑張る事を抑えるようにしている。

○自分が何とかしないといけないとばかり思っていたが、話を聞いてもらいホッとした。

体験や想いを分かち合った内容の、ごく一部ですが紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後の日程

- 日時・場所
毎月第4火曜日 13:30~15:30
東京医科歯科大学医学部附属病院
2018年2月27日(火)
2018年3月27日(火) } **B棟5階症例検討室**
(詳細は当日、開催階のエレベーターホールに掲示)
- 対象:主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます(無料・予約不要)
- 問合せ:東京医科歯科大学医学部附属病院
がん相談支援センター(腫瘍センター内)
電話:03-5803-4008(直通)

主催:特定非営利活動法人がん患者団体支援機構
〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-28-7
E-mail: info@canps.jp
URL: http://www.canps.jp

共催:東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター

「のぞみ基金 がん患者団体支援助成金」事業